

コンプライアンス

》コンプライアンス基本方針

当社グループは、高いレベルの企業倫理を実践するための指針として2011年に「コンプライアンス基本方針」を制定しました。この度、さらなるコンプライアンス強化のため、2026年10月に本方針の一部を改定しました。本方針では、「企業行動規範」と「企業行動基準」を定めており、すべての役員および従業員に適用しています。加えて、コンプライアンス基本方針の改定とともに、「贈収賄防止方針」を新たに策定しました。当社グループは今後も、経営理念「仕濾過事」のもと、常にコンプライアンス意識を保ち、社会から信頼される企業になるべく、努めていきます。

[▽コンプライアンス基本方針](#)

[▽ヤマシンフィルタグループ 贈収賄防止方針](#)

》マネジメント体制

当社グループは、コンプライアンス基本方針に基づき、法令遵守はもとより、贈収賄、不正な利益供与・受領、キックバックなどのあらゆる形態の腐敗行為の防止に取り組んでいます。

取締役会は、コンプライアンスおよび腐敗防止に関わる基本方針や重要事項の決定などを行うとともに、その運用状況や重大なコンプライアンス事案について定期的に報告を受け、重大なコンプライアンスおよび腐敗行為に関する事案や関連するリスクなどについては、執行役員および本部長が取締役会や経営会議に報告しています。コンプライアンス委員会は、社長、本部長および内部監査室長で構成され、随時開催されています。

また、グループ会社における業務執行上のリスク監視・モニタリングは「業務監理委員会」が担い、監査指摘事項のフォローアップをはじめ、法令違反や不正行為を含むさまざまなリスクに対し、プロジェクト単位で適切な対応を行っています(P.52参照)。

さらに、グループ全体でコンプライアンスおよび腐敗防止を徹底するため、各子会社に対する現地監査を実施するとともに、子会社規程の見直しや各国・地域の法令や事業環境の違いを踏まえたグループ共通規程の整備・運用を進めています。これらの取り組みを通じて、グループ全体のガバナンス体制の強化と、公正で透明性の高い事業活動の実現に努めています。

》内部通報制度

当社グループはコンプライアンス違反に関する情報を速やかに収集し、問題を未然に防止、対策を講じることを目的として、内部通報制度を運用しています。コンプライアンス違反だけでなく、従業員による企業倫理違反も通報の対象としており、社内にはイントラネット、社外には外部法律事務所に通報窓口を設置しています。「内部通報管理規程」では、通報者の保護および通報者への報復行為禁止を記載しており、通報者は匿名でも通報でき、通報を理由に不利益な取り扱いを受けないよう措置を講じています。

通報があった際は、通報者から具体的な違反行為など、必要な情報を聞き取り、調査を行います。その調査結果を踏まえ、関係者に確認の上、是正措置を講じることや職務権限規程に従った懲戒処分など社内処分を行う仕組みとなっています。また、再発防止のためモニタリングも実施しています。

2025年度は、ヤマシンフィルタ単体・セブ工場・ベトナム工場において12件の内部通報が寄せられましたが、事業に影響を及ぼすような重大事案はありませんでした。内訳は、パワーハラスメントに関する通報が4件(ヤマシンフィルタ単体)、就業規則違反の疑いに関する通報が8件(セブ工場、ベトナム工場)でした。各通報・相談内容については、内部通報管理規程および就業規則に則り、適切に対応しました。

パワーハラスメントの疑いがある事案については、通報窓口を通じて受け付けた後、関係者へのヒアリングなどにより事実関係を調査し、被通報者・通報者双方の人権とプライバシーに配慮しつつ、適正な手続きに基づき対応しています。調査の結果、業務指導の過程におけるコミュニケーション上の齟齬が背景要因となっている事例が確認されたことから、管理監督者を含む全従業員を対象に、ハラスメント防止研修の継続実施および管理職向けのコミュニケーション・マネジメント教育を強化し、再発防止を図ります。

なお、セブ工場において受け付けた7件の通報のうち6件は就業規則違反に該当すると判断し、事案の内容に応じて、当該6名に対し是正指導などの適切な措置を実施しました。今後も、腐敗防止および人権の観点から、通報制度の実効性確保(匿名性・報復禁止の徹底を含む)と、是正措置のモニタリングを継続します。

[▽ESGデータ \(コンプライアンス\)](#)

》腐敗防止への取り組み

2026年10月に策定した当社グループの贈収賄防止方針では、贈収賄およびファシリテーション・ペイメントの定義を明確にするとともに、あらゆる贈収賄・腐敗行為の禁止を明記しています。

取引において節度を超えた接待や贈答を受ける・行うことのないよう、稟議申請や経費精算などの社内手続きにおいて上長によるチェックを必ず行っています。

2025年度は腐敗行為による対応への支出および政治献金支出はありませんでした。これまでに腐敗行為を起因とした懲戒・解雇をした社員はいません。

》研修と社内浸透

当社は、中途採用者を対象に、入社時にコンプライアンス全般に関する研修を実施しています。2025年度は、当社およびアクシーの全社員を対象としたインサイダー取引に関する研修に加え、常勤取締役および管理職を対象としたハラスメント防止研修を実施しました。いずれの研修も受講率は100%でした。

コンプライアンス基本方針は、当社ホームページやイントラネットでも常時掲示しているほか、行動基準や就業規則にはあらゆるハラスメントの禁止について織り込み、一層の周知を図っています。

■ 2025年度のコンプライアンス関連研修

研修テーマ	対象者	参加人数 (名)	実施回数 (回)	受講率 (%)
ハラスメント防止	常勤取締役、 管理職	約60	1	100
インサイダー取引	当社および アクシーの従業員	約300	1	100